

# Forest

2011.10.4 3学年通信 第7号

## 2学期の学習

9月が終わりました。

「もうすぐ中間テストだ、思うように勉強できていない、まずい!!」

勉強しなくちゃいけない、と思っているけどできない。つらいですね。

できないのは、どうしてでしょう？それは、「今やっている勉強を心から楽しいと思っていないからだ」と思うのですが、どうでしょう。

皆さんが、どこかで『これは楽しい、夢中になっちゃう』というものを見つけてくれるといいのですが。

さて、勉強したいけどできない、そんなときはどうしたらいいでしょう。

学校生活のいいところは強制的に規則的な生活を送らせてくれるところです。そして、先生がポイントをしばって教えてください。これは限られた時間にたくさんの知識を身につけるには大変効率的な方法なのです。

2学期の勉強の基本は、毎日の授業を大切にすることです。「そんな当たり前の事、何をいまさら」とお思いでしょう。でもこれが意外に難しいのです。なぜかというと、家で遅くまで勉強して疲れ切って学校に来る人が増えるからです。そして学校は昼寝の場所になったり、ストレス解消の場所になったりします。

**1日に5、6時間も学校で勉強しているのです。その時間、ただ座っているだけというのはもったいない。**この時間こそ有効に使って勉強してほしいものです。

「時間を有効に使う」といっても授業中はどんなことに気をつければよいのかわかりますか？入試には、中学校で学んだことが出るので。授業中は「私のノートにまだ定着していない知識は何だろう？今日は家でどんなことを復習しよう」と考えながら授業を受けましょう。

## やる気を起こす脳

最近、大脳生理学の研究の結果、やる気を起こしている脳の部分が分かってきました。(大木幸介『やる気を起こす脳科学』講談社)

それは直径数ミリの脳細胞のかたまりです。これは〈快感を感じる脳〉〈好き嫌いを決める脳〉〈行動計画を決める脳〉〈記憶の脳〉などと深い関係のあることがわかってきました。

この脳を人工的に刺激されたネズミは、とたんに活発になったそうです。

つまり、やる気をだすには

- ①好きなことを
- ②自分からやり
- ③その結果楽しい思いをして
- ④それが記憶に残る

という繰り返しを体験すると良いのです。すると、やる気→よい結果→やる気→良い結果・・・という好循環が生まれます。

(先により結果があってそれがやる気につながって…ということもありますね。)

ところが、成功するまでがんばれないと、悪い結果→やる気なし→悪い結果→やる気なし・・・という泥沼の悪循環になってしまいます。

ただし、すべてのことをがんばることは出来ません。がんばる順位をつけることもやむを得ません。でも何かがんばり続けてほしいと思います。

(清水龍郎『高校生におくる楽しい学び方考え方』仮説社)

まずは中間テストに向けて、できるところからがんばっていきましょう。

# 合格に向けて

10月28日(金)、秦野市文化会館大ホールで行われます。3年生は10時55分から発表の予定です。

ご都合のつく保護者の皆さまには、ぜひおいで頂きたいとおもいます。

よろしくをお願いします。

## 授業参観・懇談会

10月15日(土)は、ぜひ参観にいらしてください。

懇談会のテーマは、『3年生の生活と進路』です。よろしくをお願いします。